

薩摩川内市バイオマス産業都市構想の概要

鹿児島県薩摩川内市、人口 約9.4万人、面積 約6.8万ha

構想の概要

バイオマス資源を活用することで、付加価値の高い産業の育成と雇用創出を図り、竹林保全や温暖化対策としての低炭素社会実現し、雇用環境や生活環境の良さ等を通じて、住みやすい薩摩川内市の実現し、定住人口の増加を目指す。

1. 将来像

- ① 竹等のバイオマス資源を活用することで、付加価値の高い産業の育成と雇用創出を実現する。(経済価値の創出)
- ② 事業推進に伴い、森林保全に努め、温暖化対策としての低炭素社会の実現を図る。(環境価値の創出)
- ③ 雇用環境や生活環境の良さ等を通じて、定住人口の増加を図り、住みやすい薩摩川内市を実現していく。(社会価値の創出)

3. 目標(10年後)

- ① 竹バイオマス利用量:10年後4,000t (5年後2,000t)
- ② 関連産業の創出規模:10社 (5年後5社)

5. 実施体制

「薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会」にて検討、取組を進める。市では、庁内横断的な「新エネルギー対策プロジェクトチーム」を設置。また「薩摩川内市企業連携協議会」や「薩摩川内市竹バイオマス産業都市アドバイザー」等との連携・協調により、本構想を推進する

2. 事業化プロジェクト

- ① 竹の収集・加工システム構築
・竹の賦存量及び多様な用途と使用量を踏まえ、効率的かつ安定的な竹収集・運搬システムを構築する
- ② 地域資源活用型コミュニティビジネスの創造
・地域資源である竹や、遊休施設等を活用することにより、地域主体によるコミュニティビジネスを創出する
- ③ 竹バイオマス産業都市「研究拠点」の仕組み作り
・竹のCNF活用等の技術やノウハウの共有を行い、地域内外のネットワークを活用した研究面の強化を行うことで、地域産業の活性化につなげる仕組みを作る

4. 地域波及効果

- ① 放置竹林減少率 20%
- ② 閉校した学校施設の利活用 3校
- ③ 竹活用によるコミュニティビジネスの創出 5件

6. その他

第2次薩摩川内市総合計画、第2次薩摩川内市農業・農村振興計画、(仮)薩摩川内市バイオマス活用推進計画、薩摩川内市総合戦略、薩摩川内市地域成長戦略、薩摩川内市次世代エネルギービジョン及び行動計画

1. 本構想の概要

- ◇地域資源であり、同時に地域課題でもある「竹」の利活用を、上流から下流まで総合的に進め、付加価値の高い産業の育成と、雇用創出を実現して行きます。
- ◇事業の推進に伴い、竹林保全や温暖化対策としての低炭素社会の実現を図って行きます。
- ◇雇用環境や生活環境の良さ等を通じて、定住人口の増加を図り、住みやすい薩摩川内市を実現していきます。

【上流(里山・里地)の抱える問題点】

- ・林業の衰退と担い手不足
- ・コミュニティの担い手不足、維持費用不足
- ・杉等の間伐材放置と竹群生の拡大と深刻化(竹害)
- ・里山の環境の悪化と獣害(猪、鹿等)被害の悪化

薩摩の竹を使う林業の
事業性向上と雇用づくり

里山保全による獣害の
鎮静化とコミュニティ再生

